

令和3年度 「ハッピー♥スマイル」 第3回開催報告

【日時】 令和4年1月16日（日）13時～

【場所】 浅口市健康福祉センター
ボランティア研修室

【参加者】 保護者6名 子ども2名
救急救命士1名 養護教諭1名
医師1名



1 開 会

2 アレルギー情報提供

○読売新聞の医療ルネサンスより、アトピー性皮膚炎の炎症を抑えることで、併発している食物アレルギーの改善につながる可能性があるという記事を紹介。
大矢幸弘先生（国立成育医療研究センター）は、「食物アレルギーの予防及び発症後の症状を改善させるためにも、アトピーをしっかり治療して炎症を抑えることが不可欠」と指摘している。

○米国の研究で、食物アレルギーの子どもの3割が学校でいじめを受けたことがあるのに、それに気づいている親は1割強に過ぎなかった。子どもが親に被害をうまく伝えられない子が見落とされている実態が浮き彫りになった。

○毎年2月はアレルギー週間として全国で講演会が開催されている。

- ・第28回アレルギー週間市民公開講座：オンライン講演会（日本アレルギー協会）
2月13日（日）「新型コロナウイルス感染症とアレルギー疾患」
2月20日（日）「アレルギー疾患の最新治療」
- ・都民向けアレルギー講演会
2月4日（金）「子どもの食物アレルギー」

3 情報交換

会場で対面での開催は7月以来でした。実際に会って話をするのがやはり一番いいと再確認しました。

久しぶりに参加された方もおられて、各自の状況を伺いました。

学校現場での対応で、誤配があってもなかなか改善されず、教育委員会に対応をお願いに行ってもなかなか進まない学校もあるようです。（どうしたらいいのでしょうか？）一方で、教育委員会や医師会・学校医に対応をお願いして少しずつ進んでいる学校もあるようです。

岡山でアレルギー治療が進まず、意を決して大阪まで野を超え山越え親子ともども頑張って信頼できる医師の治療・指導の下、継続して内服や吸入、スキンケアを続けた結果2月の受診で負荷テストをして卒業できそうと嬉しい報告を聞きました。

アレルギー情報にもありましたが、スキンケアをきっちりとすることでかなり改善できると実感されたようです。

病状に応じた適切な軟膏を適切な量塗布することが大切で、参加者の中には専門医を受診していてもきっちり指導されてないと伺い、次回受診時に相談するように助言しました。

令和3年度 都民向けアレルギー講演会

子供の食物アレルギー

～基礎知識と食事のポイント～

ハイブリッド開催
(会場・WEB配信)
入場・視聴無料

食物アレルギーってなんだろう？食事のポイントは？
年齢によって気を付けることは異なる。アレルギーの専門家がお話しします！

日時 令和4年 2月4日 金 午後2時から
午後4時30分まで

講演①:「食物アレルギーの基礎知識」 講師 医師 吉田 幸一氏
講演②:「食物アレルギーの食事のポイント」 講師 管理栄養士 長谷川 実穂氏

第28回アレルギー週間市民公開講座 オンライン講演会

参加費無料 事前申込み制 各日1000名
申し込みはWEB受付サイトから申込みください。

<https://www.jaanet.org> 日本アレルギー協会

問い合わせ先
第28回アレルギー週間市民公開講座オンライン講演会事務局
Tel / 03-5957-3958 E-mail / japan-allergy@hitocom.com
[営業時間 10:00～17:00 *土日・祝日は除きます]
*お電話での申込みは受けられませんので予めご了承ください。
※、今回申込みいただいた方には次回もご案内させていただきます。

令和4年 2月13日 日 13:20～15:30

「新型コロナウイルス感染症とアレルギー疾患」

13:20～13:30 総合司会 足立 満 (公益財団法人日本アレルギー協会 理事長)

講演1 13:30～14:00 「新型コロナウイルス感染症：日本の現状と問題点」
・アレルギー疾患と新型コロナウイルス感染症
・海外との比較
・新型コロナウイルス感染症の後遺症
放生 雅章 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科 診療科長)

講演2 14:00～14:30 「アレルギー疾患と新型コロナウイルスの副反応」
・3回目のワクチン接種の副反応予想
・アレルギー治療薬のワクチン抗体価への影響
・抗体カウテル療法の有効性と副反応
・開発中の内服薬の有効性と副反応
山口 正雄 (帝京大学ちは総合医療センター 第三内科 [呼吸器] 教授)

講演3 14:30～15:00 「小児における新型コロナウイルス感染症とその対策」
・ワクチンは何歳から可能ですか？
・小児での重症化は稀ですか？
・小児における感染後の後遺症はありますか？
吉原 麗美 (獨協医科大学医学部 小児科学教室 主任教授)

講演4 15:00～15:30 「妊婦における新型コロナウイルス感染症の対策」
・COVID-19は流産や奇形の原因になりますか？
・妊婦が感染すると重症化しやすいのですか？
・妊婦さんに使える薬やワクチンがありますか？
早川 智 (日本大学薬学部病態生理学系微生物学分野 教授)

令和4年 2月20日 日 13:20～15:30

「アレルギー疾患の最新治療」

13:20～13:30 総合司会 足立 満 (公益財団法人日本アレルギー協会 理事長)

講演1 13:30～14:00 「花粉症2022年の動向とその対策」
・舌下免疫療法をしてもコナクワチンは接種できますか？
・重症な花粉症に対して新しい治療法はありますか？
岡野 光博 (国際医療福祉大学成田病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長/医学部教授)

講演2 14:00～14:30 「アトピー性皮膚炎の最新治療」
・血液検査でアトピー性皮膚炎の原因がわかりますか？
・プロアクティブ療法ってどうすればいいのですか？
・アトピー性皮膚炎の新しい薬について教えてください
片岡 菜子 (地方独立行政法人大府立病院機構大阪はびきの医療センター 皮膚科 主任部長)

講演3 14:30～15:00 「食物アレルギー最近の傾向と対策」
・卵黄のアレルギーと卵白のアレルギーは違うのですか？
・経口免疫療法を成功させるコツは何ですか？
・大人でも食物アレルギーになるのですか？
大矢 幸弘 (国立研究開発法人国立成育医療センターアレルギーセンター長)

講演4 15:00～15:30 「気管支喘息の最新治療～成人から高齢者まで～」
・コロナ以降の喘息コントロール
・吸入薬をどう使うのか
・重症喘息患者さんへの対応
田中 明彦 (昭和大学病院医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門 准教授)

主催：公益財団法人日本アレルギー協会
後援：厚生労働省 / 東京都 / 公益社団法人日本医師会 / 一般社団法人日本アレルギー学会



今回は、ギリギリのタイミングで開催できました。次回は、令和4年3月20日（日）浅口市健康福祉センターで開催します。情報交換の予定です。新型コロナ感染症の状況により、中止するかもしれません。事前にホームページでの確認をお願いします。

(浅口医師会 高山晴彦)